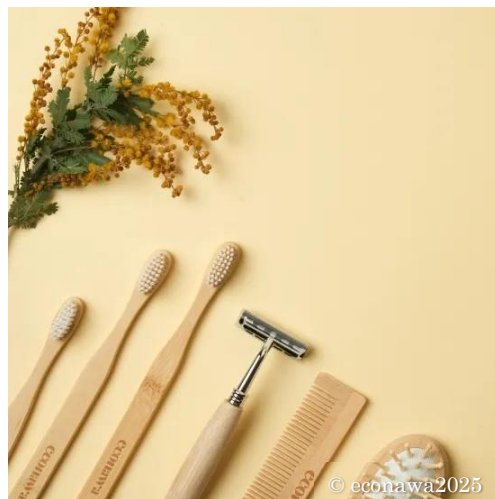


# 事業者向けの 使い捨てプラスチック使用削減の手引き





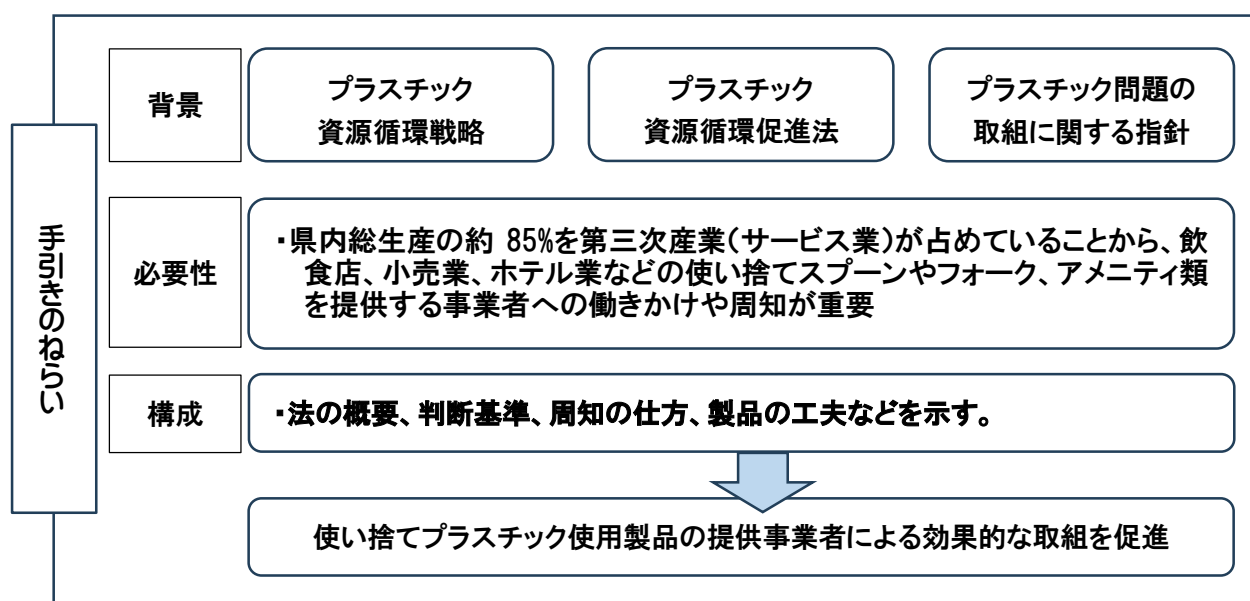
# 目次

|                                                |    |
|------------------------------------------------|----|
| 1. 手引きの目的.....                                 | 1  |
| 2. プラスチック資源循環法の概要.....                         | 2  |
| 3. プラスチック資源循環法で定められた製品とその提供事業者について .....       | 3  |
| (1) 「特定プラスチック使用製品」と「特定プラスチック使用製品提供事業者」の関係..... | 3  |
| (2) 本手引きの対象 .....                              | 4  |
| (3) 本手引きの活用方法 .....                            | 4  |
| 4. 特定プラスチック使用製品提供事業者の取り組むべき事項 .....            | 5  |
| 5. 特定プラスチック提供事業者の対象事業者と取組の推奨例.....             | 9  |
| (1) 対象事業者 .....                                | 9  |
| (2) 「目標の設定」について .....                          | 10 |
| (3) 特定プラスチック使用製品の使用の合理化の推奨例 .....              | 10 |
| (4) 情報の提供の推奨例.....                             | 18 |
| (5) 体制の整備の推奨例.....                             | 22 |
| (6) 安全性等の配慮の推奨例 .....                          | 23 |
| 6. 「特定プラスチック使用製品提供事業者による取組計画（ひな形）」の作成方法 .....  | 24 |
| (1) 取組計画（ひな形）について.....                         | 24 |
| (2) 「目標の設定」の作成方法.....                          | 24 |
| (3) 「特定プラスチック使用製品の使用の合理化」の作成方法 .....           | 28 |



## 1. 手引きの目的

- ・日本国内において、海洋プラスチックごみの問題や地球温暖化、廃棄物の輸出規制問題等に対応していくため、令和元(2019)年にプラスチック資源循環戦略が策定され、2030 年までに使い捨てプラスチックの排出を 25%削減し、再生利用を増やすなどの目標が掲げられています。また、令和4(2022)年 4 月には「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」(以下、「プラスチック資源循環法」という。)が施行され、プラスチック製品の設計から廃棄物の処理に至るまでの各段階に関わる各主体の役割や取組を明確にし、プラスチックの資源循環を促進することが法制化されました。
- ・プラスチック資源循環法による事業者の役割として、プラスチック使用製品の提供事業者(各種商品小売業、宿泊業、飲食店、洗濯業など)においては、使い捨てプラスチック製品の使用の合理化(例えば、使い捨てスプーンなどの提供の際、消費者の意思を確認することや、原材料にバイオプラスチックを用いるなど)に有効な取組を選択し、プラスチック使用製品廃棄物の排出を抑制することが求められているところです。
- ・また、本県では、プラスチック資源循環について、輸送コストがかかることやスケールメリットが得られにくいなど、島しょ性に起因する課題を抱えていることから、本県の課題解決に向けて、プラスチックの適正処理及び資源循環に向けた体制作りを進めるとともに、各主体がプラスチックの使用削減に向けて取り組んで行くことが重要です。
- ・県では、令和7年3月に、プラ新法の考え方に基づき、本県の地域の実情に即して、行政、県民、事業者などの各主体が一体となってプラスチック問題への取組を推進するために、「沖縄県プラスチック問題の取組に関する指針」を策定したところです。同指針の推進を図り、事業者の使い捨てプラスチック製品の使用削減に向けた取組を後押しすることを目的に、プラスチック使用製品の提供事業者向けに「事業者向けの使い捨てプラスチック使用削減の手引き」を併せて策定しました。同手引きを活用して、各事業者の自主的かつ効果的な取組が進むよう働きかけてまいります。



## 2. プラスチック資源循環法の概要

プラスチック資源循環法の制定年月、制定の背景・目的を表1に示します。

表1 プラスチック資源循環法の制定年月、制定の背景・目的

|       |                                                                                                                                                                                                    |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 制定    | 令和3（2021）年6月                                                                                                                                                                                       |
| 制定の背景 | 国内外におけるプラスチック使用製品の廃棄物をめぐる環境の変化に対応して、以下の措置を講ずることにより、生活環境の保全及び国民経済の健全な発展に寄与するため、一層のプラスチックに係る資源循環の促進等を図ることが必要。<br>・プラスチック使用製品の使用の合理化<br>・プラスチック使用製品の廃棄物の市区町村による再商品化<br>・事業者による自主回収及び再資源化を促進するための制度の創設 |
| 制定の目的 | 多様な物品に利用されているプラスチックという素材に着目し、製品の設計から廃棄物の処理に至るまでの各段階において、あらゆる主体におけるプラスチックの資源循環等の取組（3R+Renewable）を促進するための措置を講ずるために制定された。                                                                             |

プラスチック資源循環法における措置事項、対象、対象者等の関係を示した体系図を図1に示します。本手引きでは、事業者の使い捨てプラスチック製品の使用削減に向けた取組を後押しすることを目的として、特定プラスチック使用製品とその提供事業者を対象としています（図中赤枠）。

| ライフサイクル     | 法での措置事項（概要）           | 対象                      | 対象者                            | 主務大臣                                             |
|-------------|-----------------------|-------------------------|--------------------------------|--------------------------------------------------|
| 設計・製造       | プラスチック使用製品設計指針        | プラスチック使用製品              | プラスチック使用製品製造事業者等               | 経産大臣、事業所管大臣<br>（内閣総理大臣、財務大臣、厚労大臣、農水大臣、経産大臣、国交大臣） |
| 販売・提供       | 特定プラスチック使用製品の使用の合理化   | 特定プラスチック使用製品（12品目）      | 特定プラスチック使用製品提供事業者（小売・サービス事業者等） | 経産大臣、事業所管大臣<br>（厚労大臣、農水大臣、経産大臣、国交大臣）             |
| 排出・回収・リサイクル | 市区町村による分別収集・再商品化      | プラスチック使用製品廃棄物           | 市区町村                           | 経産大臣、環境大臣                                        |
|             | 製造・販売事業者等による自主回収・再資源化 | 自らが製造・販売・提供したプラスチック使用製品 | プラスチック使用製品の製造・販売事業者等           | 経産大臣、環境大臣                                        |
|             | 排出事業者による排出の抑制・再資源化等   | プラスチック使用製品産業廃棄物等        | 排出事業者                          | 経産大臣、環境大臣、事業所管大臣（全大臣）※1                          |

資源循環の高度化に向けた環境整備・循環経済（サーキュラー・エコノミー）への移行

※1 再資源化事業計画に関する事項は、経産大臣・環境大臣に限る

図1 プラスチック資源循環法の体系図

出典：経済産業省・環境省（2021）「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律について」より抜粋、一部加筆



### 3. プラスチック資源循環法で定められた製品とその提供事業者について

#### (1) 「特定プラスチック使用製品」と「特定プラスチック使用製品提供事業者」の関係

プラスチック資源循環法では、商品の販売又は役務の提供に付随して消費者に無償で提供される使い捨てプラスチックのうち表2の12製品を「特定プラスチック使用製品」と指定しています。これらの製品を提供する事業者は、「特定プラスチック使用製品提供事業者」として、表2の業種が指定されています※。

※主たる事業が下記の対象業種に該当しなくても、事業活動の一部で下記の対象業種に属する事業を行っている場合には、その事業の範囲で対象となります。

表2 特定プラスチック使用製品の対象製品と特定プラスチック使用製品提供事業者となる業種

| 特定プラスチック使用製品（12製品）                                                                                                       |                                                                                                                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 対象製品                                                                                                                     | 対象業種※                                                                                                                                                                                      |
| ①フォーク ②スプーン ③テーブルナイフ ④マドラー ⑤飲料用ストロー<br> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 各種商品小売業（無店舗のものを含む）</li> <li>● 飲食料品小売業（野菜・果実小売業、食肉小売業、鮮魚小売業及び酒小売業を除き、無店舗のものを含む）</li> <li>● 宿泊業</li> <li>● 飲食店</li> <li>● 持ち帰り・配達飲食サービス業</li> </ul> |
| ⑥ヘアブラシ ⑦くし ⑧かみそり ⑨シャワーキャップ ⑩歯ブラシ<br>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 宿泊業</li> </ul>                                                                                                                                    |
| ⑪衣類用ハンガー ⑫衣類用カバー<br>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 各種商品小売業（無店舗のものを含む）</li> <li>● 洗濯業</li> </ul>                                                                                                      |

※総務省 日本標準産業分類 [https://www.soumu.go.jp/toukei\\_toukatsu/index/seido/sangyo/R05index.htm](https://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/sangyo/R05index.htm)  
 経済産業省 環境省「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律について」より一部加筆して掲載

#### ○勧告等の対象となる「特定プラスチック使用製品多量提供事業者」の要件について

前年度における特定プラスチック使用製品の提供量が5トン以上の事業者については、後述の表5に示した取組の実施が著しく不十分な場合に、主務大臣が勧告・公表・命令等を行うことがあります。

表3 「特定プラスチック使用製品多量提供事業者」の定義

| 定義                | 前年度における特定プラスチック使用製品の提供量が5トン以上                                         |
|-------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| プラスチック資源循環法に基づく措置 | 取組が著しく不十分な場合、主務大臣（経産大臣、事業所管大臣（厚労大臣、農水大臣、経産大臣、国交大臣））による勧告・公表・命令の対象となる。 |

## (2) 本手引きの対象

本手引きで示す推奨例(詳細は本手引き 9～23 ページ)は、沖縄県内すべての「特定プラスチック使用製品提供事業者」(以下、県内の対象事業者)を対象としています。

「特定プラスチック使用製品提供事業者」は表 2 の 12 製品のいずれかを提供する事業者を指し、その業種が指定されています。なお、主たる事業が対象業種に該当しなくても、事業活動の一部で対象業種に属する事業を行っている場合には、その事業の範囲で対象となります。

## (3) 本手引きの活用方法

本手引きは、主に以下の用途で活用することができます。

- ①新規参入した県内の対象事業者が、特定プラスチック使用製品の削減に関する取組の導入を検討する際に、本手引きに掲載されている取り組むべき事項やその推奨例等を参考に、取組の実践につなげる。
- ②県内の対象事業者が、特定プラスチック使用製品の削減に関する取組を新たに始める、または取組を見直す際に、本手引きに掲載されている取り組むべき事項やその推奨例等を参考に、取組の実践につなげる。
- ③その他、県内の対象事業者ないし、県内の事業者が事業活動の一部で対象業種に属する事業を行う際、取り組むべき事項やその推奨例等を参考に、取組の実践につなげる。



#### 4. 特定プラスチック使用製品提供事業者の取り組むべき事項

プラスチック資源循環法の第 28 条第 1 項及び第 30 条第 2 項の規定に基づいて定められた省令※（以下、省令と記載）では、特定プラスチック使用製品提供事業者の取り組むべき事項として表 4 のとおりと示されており、その判断基準等について表 5 に示されています。

この取り組むべき事項及び判断基準に従って、特定プラスチック使用製品提供事業者が取組を進めることで、消費者の行動変容を促すことが期待されています。

表 4 特定プラスチック使用製品提供事業者の取り組むべき事項

| No. | 項目                            | 細項目             |
|-----|-------------------------------|-----------------|
| 1   | 目標の設定                         | —               |
| 2   | 特定プラスチック使用製品の使用の合理化           | 提供方法の工夫         |
|     |                               | 製品の工夫           |
|     |                               | その他の取組          |
| 3   | 情報の提供                         | —               |
| 4   | 体制の整備等                        | —               |
| 5   | 安全性等の配慮                       | —               |
| 6   | 特定プラスチック使用製品の使用の合理化の実施状況等の把握等 | —               |
| 7   | 関係者との連携                       | —               |
| 8   | 本部・加盟者における特定プラスチック使用製品の使用の合理化 | 本部事業者における使用の合理化 |
|     |                               | 加盟者における使用の合理化   |
| 9   | 約款の定め                         | —               |

※特定プラスチック使用製品提供事業者の特定プラスチック使用製品の使用の合理化によるプラスチック使用製品廃棄物の排出の抑制に関する判断の基準となるべき事項等を定める省令（令和四年厚生労働省・農林水産省・経済産業省・国土交通省令第一号）

表 5 取り組むべき各事項の判断基準等( 1 / 3 )

| No. | 項目                                                | 判断基準等の概要                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                            |                               |
|-----|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|-------------------------------|
| 1   | 目標の設定                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定プラスチック使用製品提供事業者は、特定プラスチック使用製品の使用の合理化を図るため、次の表に定めるところにより、その事業において提供する特定プラスチック使用製品の使用の合理化に関する目標を定め、これを達成するための取組を計画的に行うこと。</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                            |                               |
|     |                                                   | 記載例                                                                                                                                                                           | 特定プラスチック使用製品の提供量 (t) (①)                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 売上高、店舗面積その他の特定プラスチック使用製品の提供量と密接な関係をもつ値 (②) | 特定プラスチック使用製品の提供に係る原単位 (③=①÷②) |
|     |                                                   | 基準年度<br>20××年度                                                                                                                                                                | 10[t]                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 売上：100[億円]                                 | 0.1[t/億円]                     |
|     |                                                   | 目標年度<br>20■■年度                                                                                                                                                                | 16[t]                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 売上：200[億円]                                 | 0.08[t/億円]                    |
|     |                                                   | 変化率 (%)                                                                                                                                                                       | +60%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | +100%                                      | ▲20%                          |
| No. | 項目                                                | 細項目                                                                                                                                                                           | 判断基準等の概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                            |                               |
| 2   | 特定プラスチック使用製品の使用の合理化<br>(右記の取組により、同製品廃棄物の排出を抑制する。) | 提供方法の工夫                                                                                                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消費者にその提供する特定プラスチック使用製品を有償で提供すること。</li> <li>・ 消費者が商品を購入し又は役務の提供を受ける際にその提供する特定プラスチック使用製品を使用しないように誘引するための手段として景品等を提供すること。</li> <li>・ その提供する特定プラスチック使用製品の使用について消費者の意思を確認すること。</li> <li>・ その提供する特定プラスチック使用製品について繰返し使用を促すこと。</li> </ul> <p>その他の措置を講ずることにより、消費者によるプラスチック使用製品廃棄物の排出の抑制を促進すること。</p> |                                            |                               |
|     |                                                   | 製品の工夫                                                                                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薄肉化、軽量化その他の特定プラスチック使用製品の設計又はその部品若しくは原材料の種類について工夫された特定プラスチック使用製品を提供すること。</li> <li>・ 適切な寸法の特定プラスチック使用製品を提供すること。</li> <li>・ 繰返し使用が可能な製品を提供すること。</li> </ul> <p>その他の措置を講ずることにより、自らの特定プラスチック使用製品の過剰な使用を抑制すること。</p>                                                                               |                                            |                               |

表 5 取り組むべき各事項の判断基準等 ( 2 / 3 )

| No. | 項目                            | 判断基準等の概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3   | 情報の提供                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定プラスチック使用製品提供事業者は、店頭においてプラスチック使用製品廃棄物の排出の抑制に資する事項を掲示すること。</li> <li>・ 特定プラスチック使用製品提供事業者自らが特定プラスチック使用製品の使用の合理化のために実施する取組の内容をインターネットの利用その他の方法により公表すること。</li> <li>・ その提供する特定プラスチック使用製品にプラスチック使用製品廃棄物の排出の抑制の重要性に関する表示を付すこと。</li> </ul> <p>その他の措置を講ずることにより、消費者によるプラスチック使用製品廃棄物の排出の抑制を促進するための情報を提供すること。</p> |
| No. | 項目                            | 判断基準等の概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 4   | 体制の整備等                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定プラスチック使用製品提供事業者は、特定プラスチック使用製品の使用の合理化を図るため、特定プラスチック使用製品の使用の合理化のための取組に関する責任者の設置その他の必要な体制の整備を行うとともに、その従業者に対し、特定プラスチック使用製品の使用の合理化のための取組に関する研修の実施その他の措置を講ずること。</li> </ul>                                                                                                                                |
| No. | 項目                            | 判断基準等の概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 5   | 安全性等の配慮                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定プラスチック使用製品提供事業者は、No. 2 の取組を実施することにより特定プラスチック使用製品の使用の合理化を図る際には、その提供する特定プラスチック使用製品に関し、その安全性、機能性その他の必要な事情に配慮すること。</li> </ul>                                                                                                                                                                           |
| No. | 項目                            | 判断基準等の概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 6   | 特定プラスチック使用製品の使用の合理化の実施状況等の把握等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定プラスチック使用製品提供事業者は、その事業において特定プラスチック使用製品を提供した量並びに特定プラスチック使用製品の使用の合理化のために実施した取組及びその効果を適切に把握し、当該把握した情報をインターネットの利用その他の方法により公表するよう努めること。</li> </ul>                                                                                                                                                        |

表 5 取り組むべき各事項の判断基準等 ( 3 / 3 )

| No. | 項目                            | 判断基準等の概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                      |
|-----|-------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7   | 関係者との連携                       | <p>・ 特定プラスチック使用製品提供事業者は、特定プラスチック使用製品の使用の合理化のための取組を効果的に行うため、国、関係地方公共団体、消費者、関係団体及び関係事業者との連携を図るよう配慮すること。その際、特定プラスチック使用製品提供事業者は、必要に応じて取引先に対し協力を求めること。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                      |
| No. | 項目                            | 細項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 判断基準等の概要                                                                                                             |
| 8   | 本部・加盟者における特定プラスチック使用製品の使用の合理化 | 本部事業者における使用の合理化                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <p>・ 本部事業者は、加盟者の事業において提供する特定プラスチック使用製品について、当該加盟者に対し、特定プラスチック使用製品の使用の合理化に関し必要な指導を行い、プラスチック使用製品廃棄物の排出を抑制するよう努めること。</p> |
|     |                               | 加盟者における使用の合理化                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <p>・ 加盟者は、本部事業者が実施する特定プラスチック使用製品の使用の合理化のための措置に協力するよう努めること。</p>                                                       |
| No. | 項目                            | 約款の定めに関する概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                      |
| 9   | 約款の定め                         | <p>・ 特定プラスチック使用製品の使用の合理化に関する定めとして、下記の定めを含む場合、加盟者の提供量は本部事業者の提供量に含むものとする。</p> <p>① 特定プラスチック使用製品に関し、本部事業者が加盟者に対し、指導又は助言をする旨の定め</p> <p>② 特定プラスチック使用製品に関し、本部事業者及び加盟者が連携して取り組む旨の定め</p> <p>③ 本部事業者と加盟者との間で締結した約款以外の契約書に①又は②の定めが記載され、当該契約書を加盟者が遵守するものとする定め</p> <p>④ 本部事業者が定めた環境方針又は行動規範に①又は②の定めが記載され、当該環境方針又は行動規範を加盟者が遵守するものとする定め</p> <p>⑤ 特定プラスチック使用製品に関し、法に基づきプラスチックに係る資源循環の促進等のための措置を講ずる旨が記載された、本部事業者が定めたマニュアルを加盟者が遵守するものとする定め</p> |                                                                                                                      |

## 5. 特定プラスチック提供事業者の対象事業者と取組の推奨例

### (1) 対象事業者

#### ①各種商品小売業（無店舗のものを含む）

百貨店、総合スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンター、均一価格店等

#### ②飲食料品小売業（野菜・果実小売業、食肉小売業、鮮魚小売業及び酒小売業を除き、無店舗のものを含む）

各種食料品小売業（食料品スーパーマーケット等）、菓子・パン小売業、その他の食料品小売業（牛乳小売業、飲料小売業、茶類小売業、料理品小売業、米穀類小売業、豆腐・かまぼこ等加工食品小売業、乾物小売業、他に分類されない飲食料品小売業）

#### ③宿泊業

旅館、ホテル、簡易宿所、下宿業、その他の宿泊業（会社・団体の宿泊所、リゾートクラブ等）

#### ④飲食店

食堂、レストラン（専門料理店を除く）、専門料理店（日本料理店、料亭、中華料理店、ラーメン店、焼肉店、その他）、そば・うどん店、すし店、酒場、ビヤホール、バー、キャバレー、ナイトクラブ、喫茶店、その他の飲食店（ハンバーガー店、お好み焼・焼きそば・たこ焼店、他に分類されない飲食店）

#### ⑤持ち帰り・配達飲食サービス業

持ち帰り飲食サービス業、配達飲食サービス業、施設給食業等

#### ⑥洗濯業

普通洗濯業、洗濯物取次業、リネンサプライ業等

#### <解説>

特定プラスチック使用製品の提供が通常想定されない細分類の業種（ドラッグストア、ホームセンター、均一価格店等）や飲食店等における考え方について

##### 【取組を行う必要がある場合の具体例】

- ・店内で弁当販売を行っており、商品の販売に付随して使い捨てフォークや使い捨てスプーンを提供している場合
- ・店内でアイスクリームや紙パック飲料を販売しており、商品の販売に付随して使い捨てスプーンや使い捨てストローを提供している場合
- ・この他、商品の販売又は役務の提供に付随して消費者に無償で特定プラスチック使用製品を提供している場合

##### 【取組を行う必要がない場合の具体例】

- ・飲食店において、持ち帰りを含め、特定プラスチック使用製品を無償では一切提供していない場合
- ・この他、事業者が行う事業活動すべてにおいて、商品の販売又は役務の提供に付随して、消費者に特定プラスチック使用製品を無償では一切提供していない場合

## (2)「目標の設定」について

「目標の設定」に関しては、表 5 のとおり省令で示されています。表 5 の記載例のように、目標の設定を行う場合は、「特定プラスチック使用製品提供事業者による取組計画(ひな形)」を利用して、目標の設定を行うことが可能です。ひな形を利用した目標の設定については、本手引きの 24 ページをご参照ください。

## (3) 特定プラスチック使用製品の使用の合理化の推奨例

「特定プラスチック使用製品の使用の合理化」に関しては、表 5(本手引きの 6～8 ページ)のとおり省令で示されています。「使用の合理化」とは、表 5(本手引きの 6～8 ページ)に示された「提供方法の工夫」や「製品の工夫」により、廃棄物の排出を抑制するという意味です。県内の対象事業者が、表 5 の記載例のように、特定プラスチック製品の使用の合理化を行う場合は、本手引きに示す推奨例を参考として、取組を行うことが可能です。以下、特定プラスチック製品の 카테고리 別に、特定プラスチック製品の使用の合理化を行う際の推奨例を示します(10～17 ページ)。

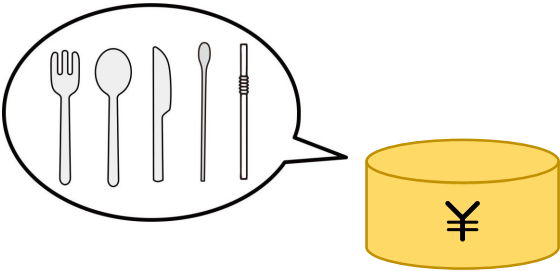
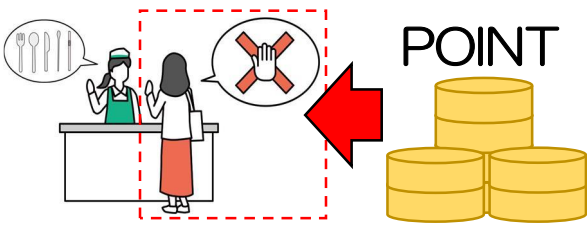
### ① フォーク、スプーン、テーブルナイフ、マドラー、飲料用ストロー(以下、カトラリー類)

★ カトラリー類に関する県内の取組事例は、「特定プラスチック使用製品提供事業者の取組事例集」の 1～11 ページをご参照ください。

#### <提供方法の工夫>

表 5(省令に示された判断基準)を推奨例とします。推奨例の具体的なイメージを図 2 に示します。

図 2 <推奨例:提供方法の工夫>の具体的なイメージ

|                                                                                                                 |                                                                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>● 特定プラスチック使用製品を有償で提供</p>  | <p>● 特定プラスチック使用製品を使用しないように誘引するための手段として景品等を提供</p>  |
| <p>● 消費者の意思を確認する</p>         | <p>● 繰り返し使用を促す</p>                                |



## ＜製品の工夫＞

「製品の工夫」に関しては、表 5 のとおり省令で示されています。表 5 の内容に沿う、沖縄県内の特定プラスチック使用製品提供事業者が提供するカトラリー類の規格（素材やサイズについて）の推奨例を表 6 に示します。また、次ページより、代替素材（木製、紙製、生分解性プラ、再生プラ、バイオマス素材）を利用したカトラリー類の価格の目安を示します。

表 6 カトラリー類の規格の推奨例

| 品目      | 素材                                                                                         | サイズ等          |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| フォーク    | フォークを提供する場合は、可能な限り、木製のものや生分解性プラスチック製のもの、再生プラスチック製のもの、バイオマス素材※を配合したものを提供する。                 | 全長<br>14cm 以下 |
| スプーン    | 可能な限り、木製のものや生分解性プラスチック製のもの、再生プラスチック製のもの、バイオマス素材※を配合したものを提供する。                              |               |
| テーブルナイフ |                                                                                            |               |
| マドラー    | 可能な限り、木製のものを優先する。<br>その他の素材による製品を提供する場合は、生分解性プラスチック製のもの、再生プラスチック製のもの、バイオマス素材※を配合したものを提供する。 | —             |
| 飲料用ストロー | 可能な限り、生分解性プラスチック製のものや紙製のもの、再生プラスチック製のもの、バイオマス素材※を配合したものを提供する。                              | —             |

※バイオマス素材を配合したものを提供する場合は、第三者により認定又は認証されたことを示す記載又は記号の使用が認められたものを提供する（例：バイオマスプラスチック識別表示制度による「バイオマスプラ」マーク）。



木製スプーン・木製フォーク、  
紙製デザートスプーン、紙製ストローの例



穴あきデザートスプーン、穴あきスプーン、  
穴あきフォークの例

参考：代替素材で製造したカトラリーの単価目安・従来品との比較（一例）

<フォーク>

| 材質 | メーカーの例       | 単価の目安 |         | 従来品の<br>単価の目安 |
|----|--------------|-------|---------|---------------|
|    |              | 配合率   | 価格      |               |
| 木製 | イオンディライト株式会社 |       | 4.4 円/本 | 4.4 円         |

<スプーン>

| 材質 | メーカーの例       | 単価の目安 |       | 従来品の<br>単価の目安 |
|----|--------------|-------|-------|---------------|
|    |              | 配合率   | 価格    |               |
| 木製 | イオンディライト株式会社 |       | 4 円/本 | 5.96 円/本      |

<デザートスプーン>

| 材質 | メーカーの例       | 単価の目安 |           | 従来品の<br>単価の目安 |
|----|--------------|-------|-----------|---------------|
|    |              | 配合率   | 価格        |               |
| 木製 | イオンディライト株式会社 |       | 1.066 円/本 | 1.25 円/本      |

<飲料用ストロー>

| 材質 | メーカーの例       | 単価の目安 |                                | 従来品の<br>単価の目安 |
|----|--------------|-------|--------------------------------|---------------|
|    |              | 配合率   | 価格                             |               |
| 紙製 | イオンディライト株式会社 |       | ロング:2.535 円/本<br>ショート:2.17 円/本 | （非公開）         |

## ② ヘアブラシ、くし、かみそり、シャワーキャップ、歯ブラシ(以下、アメニティ類)

★ アメニティ類に関する県内の取組事例は、「特定プラスチック使用製品提供事業者の取組事例集」の12～15 ページをご参照ください。

### ＜提供方法の工夫＞

「提供方法の工夫」に関しては、**表5**のとおり省令で示されており、県内の特定プラスチック使用製品提供事業者がアメニティ類を提供する際の推奨例を以下に示します。

ア)客室内にアメニティ類を配置せず、アメニティ類の配布は、提供者が任意に指定したスペース(アメニティコーナー)またはフロントに限定する。

イ)配置するアメニティ類は環境に配慮したもの※に限定する。

※環境に配慮したアメニティ類:表5、表7に示す素材を使用したアメニティ類

ウ)宿泊客の旅前に HP やメール等を通じて、環境配慮の観点からアメニティ類の持参を呼び掛ける。

### ＜アメニティバーの設置＞



### ＜HP を通した、アメニティ類の持参の呼びかけ＞

ホーラ川のせせらぎ、鳥や虫の鳴き声に耳を傾けながら、自然と調和したシンプルで温かみのある空間で日頃の疲れをリフレッシュしてください。

ジャングルホテルパインマヤでは貴重な西表島の自然環境保護のため様々な取り組みを行っております。

- 環境保全のためお部屋にはハブラシ、髯剃り、クシなど再利用できないアメニティはご用意しておりません。
- ルームウェアはご用意しておりません。予めご了承ください。
- 連泊のルーム清掃について

沖縄の自然環境負荷低減と新型コロナウイルス感染症対策の一環で基本的に滞在中の客室清掃はタオル交換・ゴミ回収のみをリクエスト制で行っています。

※衛生管理上、4泊以上の場合はご滞在中に1回通常清掃をさせていただきます。

### アメニティ類の提供方法の工夫の例

## ＜製品の工夫＞

「製品の工夫」に関しては、**表 5** のとおり省令で示されており、沖縄県内の特定プラスチック使用製品提供事業者が提供するアメニティ類の規格(素材やサイズについて)の推奨例を以下の**表 7** に示します。また、次ページより、代替素材(木製、生分解性プラ、再生プラ、バイオマス素材)を利用したアメニティ類の価格の目安を示します。

**表 7 アメニティ類の規格の推奨例**

| 品目       | 素材                              |
|----------|---------------------------------|
| ヘアブラシ    | 可能な限り、以下のいずれかの素材から製造された製品を提供する。 |
| くし       | a. 再生プラスチック製※1のもの               |
| かみそり     | b. バイオマス素材の配合率が 25%※2以上のもの      |
| シャワーキャップ | c. 再利用が可能な素材(例:竹製、木製、アルミ製等)     |
| 歯ブラシ     | d. 生分解性プラスチック製のもの               |

※1 再生プラスチック製のものは可能な限り回収し、リサイクルする。使用済製品の回収等が困難な場合は、b. または c. の製品を提供する。

※2 化学的方法または生物的作用を利用する方法等によって処理することにより製造された素材の重量が、対象製品のプラスチックの重量の 25%以上を占めるもの。(第三者認証を受けた製品のうち、日本バイオプラスチック協会の認証を受けた製品は、重量比配合率が 25%以上となっている)。



**アメニティ類の製品の工夫の例**  
(木製のくし、かみそり(持ち手部分)、歯ブラシ)

参考：代替素材で製造したアメニティ類の単価目安・従来品との比較（一例）

<ヘアブラシ ※全て使い捨ての場合>

| 材質      | 主なメーカー           | 単価の目安 |        | 従来品の<br>単価の目安 |
|---------|------------------|-------|--------|---------------|
|         |                  | 配合率   | 価格     |               |
| バイオマス素材 | リーテイルブランディング株式会社 | 20%   | 14 円/本 | 12 円/本        |

<かみそり ※全て使い捨ての場合>

| 材質      | 主なメーカー                                | 単価の目安 |        | 従来品の<br>単価の目安 |
|---------|---------------------------------------|-------|--------|---------------|
|         |                                       | 配合率   | 価格     |               |
| バイオマス素材 | リーテイルブランディング株式会社<br>(※パッケージのみバイオマス素材) |       | 22 円/本 | 49.8 円        |

<シャワーキャップ ※全て使い捨ての場合>

| 材質      | 主なメーカー           | 単価の目安 |          | 従来品の<br>単価の目安 |
|---------|------------------|-------|----------|---------------|
|         |                  | 配合率   | 価格       |               |
| バイオマス素材 | リーテイルブランディング株式会社 | 20%   | 11.8 円/個 | 6.2 円         |

<歯ブラシ ※全て使い捨ての場合>

| 材質      | 主なメーカー           | 単価の目安 |        | 従来品の<br>単価の目安 |
|---------|------------------|-------|--------|---------------|
|         |                  | 配合率   | 価格     |               |
| バイオマス素材 | リーテイルブランディング株式会社 | 35%   | 20 円/本 | 23.8 円/本      |

### ③衣類用ハンガー、衣類用カバー

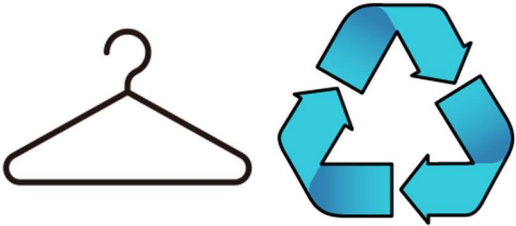
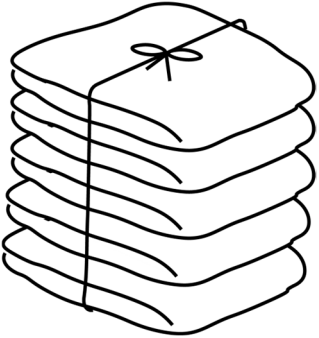
★ 衣類用ハンガーに関する県内の取組事例は、「特定プラスチック使用製品提供事業者の取組事例集」の16ページをご参照ください。

#### ＜提供方法の工夫＞

「提供方法の工夫」に関しては、表5のとおり省令で示されており、県内の特定プラスチック使用製品提供事業者が衣類用ハンガー、衣類用カバーを提供する際の推奨例を以下に示します。

- ・プラスチック製のものを提供する場合は、再利用を前提として提供する。
- ・衣類用カバーをかけて提供する際、仕上がり品が複数点ある場合はまとめて包装する。
- ・（産業クリーニング部門※<sup>1</sup>）リサイクルやリユースを前提として、ハンガーの回収に努める。
- ・（産業クリーニング部門※<sup>1</sup>）衣類用カバーに代わるもの（ひもなどによる簡易包装）で納品する。

#### 衣類用ハンガー、衣類用カバーの提供方法の工夫の推奨例（イメージ）

|                                                                                                            |                                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>＜衣類用ハンガーの洗浄・再利用＞</p>  | <p>＜まとめて包装（一客包装、集合包装）＞</p>  |
| <p>＜ハンガーの回収＞</p>        | <p>＜ひもなどによる簡易包装で納品＞</p>    |

※1 産業クリーニング部門は、法人や医療機関で使用される衣服や作業着、小物、リネン等を取り扱う事業形態を指す。総務省の日本標準産業分類における「普通洗濯業」「リネンサプライ業」に該当する。

一般クリーニング部門は、主に個人を対象とし、個人（消費者）が店頭で受渡する持込方式を採用している事業形態を指す。ホームクリーニングとも呼ばれている。総務省の日本標準産業分類における「普通洗濯業」「洗濯物取次業」に該当する。



### ＜製品の工夫＞

「製品の工夫」に関しては、表5のとおり省令で示されており、沖縄県内の特定プラスチック使用製品提供事業者が衣類用ハンガー、衣類用カバーを提供する際の規格の推奨例を以下の表8に示します。

表8 衣類用ハンガー、衣類用カバーの規格の推奨例

| 品目      | 素材                                                                                                                                        |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 衣類用ハンガー | ＜プラスチック製：リサイクルやリユースを前提とする場合＞<br>可能な限り、再生プラスチック製のものを提供する。<br>＜プラスチック製：使い捨ての場合＞<br>可能な限り、生分解性プラスチック製のものや再生プラスチック製のもの、バイオマス素材※1を配合したものを提供する。 |
| 衣類用カバー  | 衣類用カバーを使用する場合、可能な限り、生分解性プラスチック製のものや再生プラスチック製のもの、バイオマス素材※1を配合したものを提供する。                                                                    |

※1 バイオマス素材を配合したものを提供する場合は、第三者により認定又は認証されたことを示す記載又は記号の使用が認められたものを提供すること（例：バイオマスプラスチック識別表示制度の「バイオマスプラ」マーク）。



ハンガーの例（再生プラスチック使用、ハンガーのリユースが可能なもの）

#### (4) 情報の提供の推奨例

「情報の提供」に関しては、表 5(本手引きの 6～8 ページ)のとおり省令で示されています。県内の対象事業者が、表 5 の記載例のように、情報の提供を行う場合は、本手引きに示す推奨例を参考として、取組を行うことが可能です。以下、県内の対象事業者が情報の提供を行う際の推奨例を示します(18～21 ページ)。

##### ① 店頭においてプラスチック使用製品廃棄物の排出の抑制に資する事項を掲示

(以下、「排出抑制に資する事項の店頭掲示」と略記)

沖縄県内の特定プラスチック使用製品提供事業者が「排出抑制に資する事項の店頭掲示」を行う際の推奨例を以下に示します。

店舗内のスペースを考慮し、可能な範囲内で以下のいずれか又はすべてを実施する。

ア) 使用の合理化のために実施する取組への協力を呼び掛けるポスター等を店頭掲示する。

イ) 使用の合理化のために実施した取組の成果について店頭掲示する。

ウ) 地方自治体等が作成した普及啓発ポスターを店頭掲示する。

エ) その他、プラスチック使用製品廃棄物の排出の抑制に資する事項を店頭掲示する。

**わたし人も**

エコなスプーンを提供します

ストローはご入用ですか?

**もらう人も**

フォークいりません

マイスプーンあります

**プラスチック製品の環境にやさしい選択にご協力ください!**

**プラスチック資源循環促進法**  
2022年4月1日スタート

プラスチック資源循環促進法に関する事業者お問い合わせ窓口  
☎ 0570-005117

【受付期間】令和4年2月24日～9月30日  
月～金曜日(土・日・祝日除く)9:00-18:15

プラスチック資源循環特設HP

厚生労働省 MAFF 農林水産省 経済産業省 国土交通省 環境省

**わたしたちは、プラスチック製品の提供削減に取り組んでいます。**

2022年4月1日、「プラスチック資源循環促進法(略称)」が施行されました。これは未来のテーマ、持続可能な社会の実現に向けての新しいルールであり、プラ製のアメニティ提供を減らすなど、わたしたちも、できることを始めています。より良い未来への取り組みとして、ご理解いただければ幸いです。

●歯ブラシ  
●ひげそり(カミソリ)  
●ヘアブラシ  
●くし(コーム)  
●ヘアキャップ

ご不便をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

ご不明な点があれば、フロントまでおたずねください。

厚生労働省 経済産業省 環境省 制作: ANIHA 全日本ホテル連盟 All Japan Hotel Association

排出抑制に資する事項の店頭掲示の例

## ② 特定プラスチック使用製品の使用の合理化のために実施する取組の内容をインターネットの利用その他の方法により公表(以下、「取組内容の公表」と略記)

沖縄県内の特定プラスチック使用製品提供事業者が「取組内容の公表」を行う際の推奨例を以下に示します。

公表内容と公表方法の例を示す。なお、事業者が任意に、複数の方法で公表することは妨げない。

### ＜公表する内容の例＞

- ・取組内容の告知(取組を予定している内容、取組開始時期)
- ・取組内容の紹介
- ・取組結果の発表(基準年度との比較、目標年度に対する達成状況等)
- ・その他、使用の合理化のために実施する取組の内容

### ＜公表方法の例＞

自社ホームページでの公開、プレスリリース、店頭掲示

**AEON NEWS RELEASE**

2022年2月17日  
イオン琉球株式会社

**2030年までに、使い捨てプラスチック使用量半減へ  
店舗で配布するプラスチック製カトラリーを木製・紙製に変更**  
2022年4月より順次切り替えていきます

イオン琉球株式会社(本社：南風原町、代表取締役社長：大野恵司 以下、当社)は2022年4月から順次、「イオン」「イオンスマイル」「マックスバリュ」「ザ・ビッグ」「イオンドラッグ」全7店舗でお客さまにお渡しするカトラリーを、使い捨てプラスチック素材から紙や木製といった環境配慮型素材に変更します。

当社は、CO<sub>2</sub>排出量ゼロの持続可能なプラスチック利用を目指す「イオン プラスチック利用方針」のうち、「事業活動で使用する使い捨てプラスチック」を2030年までに2018年比で半分に減らす」というグループ全体の目標達成に資すべく、2025年までに2018年比で35%減らす目標を掲げています。

こうした中2020年からは、お客さまが惣菜や弁当などを購入される際にお渡しするカトラリーは、レジにてお申し出をいただいたお客さまに必要な数量だけお渡しすることにより使用量の削減を推進してまいりました。

このたび、上記の削減目標を達成するための取り組みをさらに推進し、4月1日より順次、使い捨てプラスチック素材から紙や木製といった環境配慮型素材のカトラリーに切り替えます。当社は、今後も目標達成に向けて事業活動で使用する使い捨てプラスチック削減に積極的取り組みてまいります。

|                    | ＜切り替え前＞<br>プラスチック製 | ＜切り替え後＞※<br>木製・紙製 |
|--------------------|--------------------|-------------------|
| カトラリー<br>(プラスチック製) |                    |                   |

※1：容器包装リサイクル法の対象となるプラスチック製容器包装のうち、使用後に不要となるものと、レジで無償配布するストロー・カトラリー類などの使い捨ての資材。  
※2：各カトラリーの取り扱いには各店舗で異なります。

**OKINAWA  
HARBORVIEW HOTEL  
INFORMATION**  
お知らせ

TOP > ニュース > お知らせ > SDGsへの取り組みについて

SDGsへの取り組みについて

【環境に向けて】①

■客室アメニティのバイオマス化

・客室アメニティ(※1)はバイオマス製品を使用。食用外の古米や工業米、紙、コーンスターチなどの生物由来資源(バイオマス)を使い、プラスチックの使用量を抑えた環境に配慮した製品です。

※1 歯ブラシ・ヘアブラシ・カミソリ・シャワーキャップ

## 取組内容の公表の例

③ 提供する特定プラスチック使用製品にプラスチック使用製品廃棄物の排出の抑制の重要性に関する表示を付す（以下、「排出抑制の重要性の表示」と略記）

沖縄県内の特定プラスチック使用製品提供事業者が「排出抑制の重要性の表示」を行う際の推奨例を以下に示します。

以下のいずれかを実施する。

ア) プラスチック使用製品廃棄物の排出の抑制の重要性に関する表示が付されている特定プラスチック使用製品を調達する。

イ) ア)の製品が調達困難な場合、取引先(卸売業者または製造業者)に依頼して、プラスチック使用製品廃棄物の排出の抑制の重要性に関する表示を付してもらうようにする。

植物由来（バイオマス）の素材を  
30%配合したカトラリー



パッケージには、  
「環境にやさしい植物由来の原料を  
配合しています」と記載

**NATURAL BAMBOO AMENITY**  
環境にも人にもやさしい  
持ち帰りたくなる竹製アメニティ



**Natural**  
ゼロウェイスト製品へのこだわり  
生分解性で土に還りごみになりません

**Package**  
1点ずつ個包装され衛生的  
間伐材を使用した環境配慮型パッケージ

**FSC認証**  
最も高い水準で自然林の保全や絶滅危惧種の  
保護を促すFSC認証を取得しています

ヒマシ油から作られた天然毛100%生分解性  
抗菌消臭作用に優れ人口歯磨き粉の使用なく  
自然に成長する竹は二酸化炭素を吸収する  
サステナブルな素材

植物由来のオーガニック素材  
BPAフリーで安心・安全

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**  
12 13 14 15

**econawa**

排出抑制の重要性の表示の例



④ その他の措置を講ずることにより、消費者によるプラスチック使用製品廃棄物の排出の抑制を促進するための情報を提供

上記①～③の他に、沖縄県内の特定プラスチック使用製品提供事業者が消費者によるプラスチック使用製品廃棄物の排出の抑制を促進するための情報を提供する際の推奨例を以下に示します。

以下を参考に、消費者によるプラスチック使用製品廃棄物の排出の抑制を促進するための情報を提供する。

- ・顧客を対象とした、特定プラスチック使用製品の削減に関するセミナーの開催
- ・ビーチクリーンイベントと共催して情報提供を実施
- ・普及啓発イベントや体験コーナーを店舗内で開催
- ・海洋ごみやプラスチックごみをテーマにしたアート展との共催など来客の見込めるイベントと共催して情報提供を実施

＜セミナーの開催＞

コープおきなわ 主催：環境推進委員会

講演を聴いて、  
考えて、楽しく  
学ぼう！

親子学習  
プラスチック  
について  
考えよう

講演：個人ワーク  
10/26  
10:00～12:00

環境を守るために  
できることを考えて  
みませんか？

定員 20名 ※抽選  
参加費 無料  
対象 親子  
※親子登録ですが、大人だけでも参加は可能です。  
但し、抽選の場合は親子を優先とします。

会場 あつぎ町タウン3F  
組合員活動室  
講師 日本生活協同組合連合会  
組織推進部 百瀬純乃

お申し込みはQRコードからお申込みください。

お問い合わせ  
コープおきなわ 総合推進室  
098-879-1144  
(月～金 9:30～17:00)

お申し込みQRコード

＜ビーチクリーンイベントとの共催＞



＜店舗内でのイベント開催＞



＜アート展との共催＞



その他の措置による情報提供の例

## (5) 体制の整備の推奨例

「体制の整備」に関しては、表 5(本手引きの 6～8 ページ)のとおり省令で示されています。県内の対象事業者が、表 5 の記載例のように、体制の整備を行う場合は、本手引きに示す推奨例を参考として、取組を行うことが可能です。特定プラスチック使用製品提供事業者は、消費者と接する現場担当者に対して、働きかけや教育といったことも重要です。

以下、県内の対象事業者が体制の整備を行う際の推奨例を示します。

### ＜ステップ1 責任者の設置と適切な情報収集＞

事業者内における特定プラスチック使用製品の使用の合理化を図るため、特定プラスチック使用製品の使用の合理化のための取組に関する責任者を設置する。また、責任者は、インターネットや既に取り組んでいる事業者等から情報収集を行う。



### ＜ステップ2 研修の実施＞

事業者は、ステップ 1 で設置した責任者の管理のもと、従業員に対し、特定プラスチック使用製品の使用の合理化のための取組に関する研修を実施し、積極的な提供量の削減目標を立て、社一丸となって目標達成に向け取り組む。

(研修内容の例)

- ・プラスチック資源循環法の概要の学習
- ・従業員が行う、特定プラスチック使用製品の使用の合理化の取組方法

業界団体によるガイドブックの例：

#### 「クリーニング事業者のためのプラスチックハンガー&ポリ包装 資源循環ガイドブック」

プラスチック資源循環法に対応したガイドブックであり、同法の概要や、クリーニング事業者に求められる取組を簡潔に解説している。また、「お客様へのアピールポイント」を整理し、クリーニング事業者がこれから取り組むべきことをわかりやすく示している。

出典：

全国クリーニング生活衛生同業組合連合会  
プラスチック資源循環促進法関連情報 ニュースリリース 2022 年 2 月 22 日  
<https://www.zenkuren.or.jp/news/6214>





## (6) 安全性等の配慮の推奨例

「安全性等の配慮」に関しては、表 5(本手引きの 6～8 ページ)のとおり省令で示されています。県内の対象事業者が、表 5 の記載例のように、安全性等の配慮を行う場合は、本手引きに示す推奨例を参考として、取組を行うことが可能です。

以下、県内の対象事業者が安全性等の配慮を行う際の推奨例を示します。

### ＜ステップ1 安全性及び機能性の確認＞

従業者のうち、事業者が提供する特定プラスチック使用製品を調達する者は、特定プラスチック使用製品を調達するに際して、以下の項目について確認する。

#### ア) 安全性に関する情報

カトラリー類：食事・経口時の安全性(含有成分、形状の異常の有無等)など

アメニティ類：破損箇所の有無(再利用する場合)など

衣類用ハンガー：破損箇所の有無(再利用する場合)など

衣類用カバー：衛生保持の有無など

#### イ) 機能性に関する情報

カトラリー類：実用性、ユニバーサルデザインの観点、耐久性など

アメニティ類：デザイン性(客室との調和等)、ユニバーサルデザインの観点、耐久性など

衣類用ハンガー：ユニバーサルデザインの観点、耐久性(再利用可能なものか否か)など

衣類用カバー：品質保持の有無など

#### ウ) 事業者にとって、特定プラスチック使用製品の提供に際し、考慮が必要な事情に関する情報

↓

### ＜ステップ+ α 責任者による確認＞

「体制の整備」で設定された責任者は、ステップ 1 を経て、調達候補となった特定プラスチック使用製品について、ステップ 1 の項目を再度確認する。

### 参考： 安全性及び機能性の確認に関する識別表示制度の例

| 制度等の名称                                 | 制度の内容(概要)                                                                                |
|----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| FSC 認証<br>(Forest Stewardship Council) | 森林の環境や地域社会に配慮して生産された製品であることを証明する国際的な制度。                                                  |
| 生分解性プラ識別表示制度<br>(日本バイオプラスチック協会)        | 生分解性の基準と、環境適合性の審査基準を満たした製品に「生分解性プラ」のマークと名称の使用を認め、一般消費者への正しい理解を広め、正しい使用法と製品の普及促進を目的とする制度。 |
| 海洋生分解性プラ識別表示制度<br>(日本バイオプラスチック協会)      | 海洋においても十分に生分解し、かつ安全性を確認したものを認定する制度。                                                      |
| バイオマスプラ(BP)識別表示制度<br>(日本バイオプラスチック協会)   | バイオマスプラスチックを一定比率以上含み、かつ安全性の審査基準に合格した製品に「バイオマスプラ」のマークと名称の使用を認める制度。                        |

## 6. 「特定プラスチック使用製品提供事業者による取組計画（ひな形）」の作成方法

### (1) 取組計画（ひな形）について

県内の特定プラスチック使用製品提供事業者の作成する取組計画や取組状況の整理を円滑に進めることを目的に、本手引きにおいて、特定プラスチック使用製品提供事業者の取り組むべき事項のうち、「目標の設定」と「特定プラスチック使用製品の使用の合理化」のひな形を作成しました。

表 9 特定プラスチック使用製品提供事業者の取り組むべき事項の一覧

赤枠：本ひな形で扱う項目

| No. | 項目                            | 細項目             |
|-----|-------------------------------|-----------------|
| 1   | 目標の設定                         | —               |
| 2   | 特定プラスチック使用製品の使用の合理化           | 提供方法の工夫         |
|     |                               | 製品の工夫           |
|     |                               | その他の取組          |
| 3   | 情報の提供                         | —               |
| 4   | 体制の整備等                        | —               |
| 5   | 安全性等の配慮                       | —               |
| 6   | 特定プラスチック使用製品の使用の合理化の実施状況等の把握等 | —               |
| 7   | 関係者との連携                       | —               |
| 8   | 本部・加盟者における特定プラスチック使用製品の使用の合理化 | 本部事業者における使用の合理化 |
|     |                               | 加盟者における使用の合理化   |
| 9   | 約款の定め                         | —               |

### (2) 「目標の設定」の作成方法

はじめに、「目標の設定」の取組状況について、貴社の状況に応じて、図 3 の選択肢 A、B のいずれかを選んでください（選択肢の左側、オレンジ色のセルのプルダウンリストから、「○」を選択）。

|    |                                                                                     |                                             |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 設定 |  | A. プラスチック資源循環法に基づき、既に目標を設定している。             |
| 状況 |  | B. プラスチック資源循環法に基づき、改めて目標を設定するため、このひな形を利用する。 |

図 3 「目標の設定」の設定状況

図 3 の選択肢 B を選んだ場合は、貴社の状況に応じて、図 4 の選択肢 A、B のいずれかを選んでください（選択肢の左側、オレンジ色のセルのプルダウンリストから、「○」を選択）。

|       |                   |
|-------|-------------------|
| バイオプラ | A. 提供する計画または実績がある |
|       | B. 提供する計画・実績はない   |
| 再生プラ  | A. 提供する計画または実績がある |
|       | B. 提供する計画・実績はない   |

図4 バイオプラ、再生プラの提供計画・提供状況

上記の選択状況に応じて、ひな形の「表1 目標の設定」のセルの色は変化します。セルの色が変化したら、淡黄色のセルに情報を入力します。

設定状況

A. プラスチック資源循環法に基づき、既に目標を設定しており、ひな形は利用しない。

B. プラスチック資源循環法に基づき、改めて目標を設定するため、このひな形を利用する。

バイオプラ

A. 提供する計画または実績がある

B. 提供する計画・実績はない

再生プラ

A. 提供する計画または実績がある

B. 提供する計画・実績はない

選択状況に応じて、入力するセルの色が変化します。

|                            | 特定プラスチック使用製品の提供量(t) (①) | 売上高、店舗面積その他の特定プラスチック使用製品の提供量と密接な関係をもつ値(②) | 特定プラスチック使用製品の提供に係る原単位 (③=①÷②) |
|----------------------------|-------------------------|-------------------------------------------|-------------------------------|
| <div>基準年度<br/>(ア) 年度</div> | (ウ) [t]                 | 売上: [億円]                                  | [t/億円]                        |
| 基準年度の①のうちバイオプラの提供量(④)      | (エ) [t]                 |                                           |                               |
| 基準年度の①のうち再生プラの提供量(⑤)       | (オ) [t]                 |                                           |                               |
| バイオプラを除いた提供量(①-④)          | [t]                     |                                           |                               |
| 再生プラを除いた提供量(①-⑤)           | [t]                     |                                           |                               |
| <div>目標年度<br/>(イ) 年度</div> | (カ) [t]                 | 売上: [億円]                                  | [t/億円]                        |
| 目標年度の①のうちバイオプラの提供量(⑥)      | (キ) [t]                 |                                           |                               |
| 目標年度の①のうち再生プラの提供量(⑦)       | (ク) [t]                 |                                           |                               |
| バイオプラを除いた提供量(①-⑥)          | [t]                     |                                           | バイオプラを除いた原単位 [t/億円]           |
| 再生プラを除いた提供量(①-⑦)           | [t]                     |                                           | 再生プラを除いた原単位 [t/億円]            |
| 変化率(%)                     | %                       | %                                         | %                             |
| バイオプラを除いた変化率(%)            | %                       |                                           | バイオプラを除いた原単位の変化率 %            |
| 再生プラを除いた変化率(%)             | %                       |                                           | 再生プラを除いた原単位の変化率 %             |

図5 「表1 目標の設定」の選択状況の例

(ア)基準年度の入力について

プラスチック資源循環法及び関連法令では、目標の設定のための「基準年度」について、設定基準や設定方法は定められていません。貴社の状況に応じて設定した、任意の年度を入力してください。

(イ)目標年度の入力について

プラスチック資源循環法及び関連法令では、目標の設定のための「基準年度」について、設定基準や設定方法は定められていません。貴社の状況に応じて設定した、任意の年度を入力してください。

(ウ)基準年度の「特定プラスチック使用製品の提供量(t)(①)」(セル G34)について

基準年度における「事業者」\*単位での特定プラスチック使用製品の提供量を入力してください。この提供量には、バイオプラスチックや再生プラスチックを含有した製品の提供量を含めてください。

(エ)「基準年度の①のうちバイオプラの提供量(④)」(セル G36)について

基準年度における「事業者」\*単位での特定プラスチック使用製品のうち、バイオプラスチックを含有した製品の提供量を入力してください。

(オ)「基準年度の①のうち再生プラの提供量(⑤)」(セル G38)について

基準年度における「事業者」\*単位での特定プラスチック使用製品のうち、再生プラスチックを含有した製品の提供量を入力してください。

(カ)目標年度の「特定プラスチック使用製品の提供量(t)(①)」(セル G44)について

目標年度における「事業者」\*単位での特定プラスチック使用製品の提供量を入力してください。この提供量には、バイオプラスチックや再生プラスチックを含有した製品の提供量を含めてください。

(キ)「目標年度の①のうちバイオプラの提供量(⑥)」(セル G46)について

目標年度における「事業者」\*単位での特定プラスチック使用製品のうち、バイオプラスチックを含有した製品の提供量を入力してください。

(ク)「目標年度の①のうち再生プラの提供量(⑦)」(セル G48)について

目標年度における「事業者」\*単位での特定プラスチック使用製品のうち、再生プラスチックを含有した製品の提供量を入力してください。

※「事業者」について、法人格が異なる場合は、グループ会社等で合算して計算する必要はありません。ただし、フランチャイズ事業で、定款に特定プラスチック使用製品の使用の合理化に関する定めを含む場合、加盟者の提供量は本部事業者に含めて計算してください。

(作成例)

設定条件:

- ・基準年度→2019 年度、目標年度→2030 年度
- ・基準年度はバイオプラを含有した特定プラスチック使用製品を提供していないが、2030 年度は提供するようにする。
- ・基準年度(2019 年度)の売上は 100 億円、目標年度(2030 年度)の売上は 200 億円とする。
- ・原単位ベースで 20%削減を目指すこととする。

|      |   |                                             |
|------|---|---------------------------------------------|
| 設定状況 |   | A. プラスチック資源循環法に基づき、既に目標を設定しており、ひな形は利用しない。   |
|      | ○ | B. プラスチック資源循環法に基づき、改めて目標を設定するため、このひな形を利用する。 |

|       |   |                   |
|-------|---|-------------------|
| バイオプラ | ○ | A. 提供する計画または実績がある |
|       |   | B. 提供する計画・実績はない   |

|      |   |                   |
|------|---|-------------------|
| 再生プラ |   | A. 提供する計画または実績がある |
|      | ○ | B. 提供する計画・実績はない   |

表1 目標の設定

|                 | 特定プラスチック使用製品の提供量(t) (①) |     | 売上高、店舗面積その他の特定プラスチック使用製品の提供量と密接な関係をもつ値(②) |      |     | 特定プラスチック使用製品の提供に係る原単位(③=①÷②) |                  |             |
|-----------------|-------------------------|-----|-------------------------------------------|------|-----|------------------------------|------------------|-------------|
| 基準年度<br>2019 年度 | 基準年度                    | 10  | [t]                                       | 売上:  | 100 | [億円]                         | 0.1              | [t／億円]      |
|                 | 基準年度の①のうちバイオプラの提供量(④)   | 0   | [t]                                       |      |     |                              |                  |             |
|                 | 基準年度の①のうち再生プラの提供量(⑤)    |     | [t]                                       |      |     |                              |                  |             |
|                 | バイオプラを除いた提供量(①－④)       | 10  | [t]                                       |      |     |                              |                  |             |
|                 | 再生プラを除いた提供量(①－⑤)        |     | [t]                                       |      |     |                              |                  |             |
| 目標年度<br>2030 年度 | 目標年度                    | 16  | [t]                                       | 売上:  | 200 | [億円]                         | 0.08             | [t／億円]      |
|                 | 目標年度の①のうちバイオプラの提供量(⑥)   | 4   | [t]                                       |      |     |                              |                  |             |
|                 | 目標年度の①のうち再生プラの提供量(⑦)    |     | [t]                                       |      |     |                              |                  |             |
|                 | バイオプラを除いた提供量(①－⑥)       | 12  | [t]                                       |      |     |                              | バイオプラを除いた原単位     | 0.06 [t／億円] |
|                 | 再生プラを除いた提供量(①－⑦)        |     | [t]                                       |      |     |                              | 再生プラを除いた原単位      | [t／億円]      |
| 変化率(%)          | 変化率(%)                  | +60 | %                                         | +100 |     | %                            | ▲20              | %           |
|                 | バイオプラを除いた変化率(%)         | +20 | %                                         |      |     |                              | バイオプラを除いた原単位の変化率 | ▲40 %       |
|                 | 再生プラを除いた変化率(%)          |     | %                                         |      |     |                              | 再生プラを除いた原単位の変化率  | %           |



### (3) 「特定プラスチック使用製品の使用の合理化」の作成方法

はじめに、「目標の設定」の取組状況について、貴社の状況に応じて、図 6 の選択肢 A、B のいずれかを選んでください(選択肢の左側、オレンジ色のセルのプルダウンリストから、「○」を選択)。

|    |                                                                                   |                                             |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 設定 |  | A. プラスチック資源循環法に基づき、既に目標を設定している。             |
| 状況 |  | B. プラスチック資源循環法に基づき、改めて目標を設定するため、このひな形を利用する。 |

図 6 「特定プラスチック使用製品の使用の合理化」の取組状況

選択肢 B を選んだ場合は、貴社の状況に応じて、「表3 特定プラスチック使用製品の「提供方法の工夫」による取組計画・取組状況整理表」と「表4 特定プラスチック使用製品の「製品の工夫」による取組計画・取組状況整理表」を記入してください。

#### ・「業種」の入力方法

オレンジ色のセル(表3:G78、表4:G101)のプルダウンリストから、貴社の業種を選択してください。

もし、該当する業種がプルダウンリストにない場合は、「その他(自由記入欄に入力)」を選択し、自由記入欄(表3:L79、表4:L102)に貴社の業種を入力してください。

図 7 業種の入力方法

#### ・「取組計画」について

「判断基準」に掲げる取組に基づいて、貴社における特定プラスチック使用製品の提供実態等に応じた取組計画を入力してください(表3:K81～K92、表4:S81～S92)。

#### ・「取組状況」について

「判断基準」に掲げる取組に基づいて、貴社における特定プラスチック使用製品の提供実態等に応じた取組状況を入力してください(表3:K81～K92、表4:S81～S92)。

「取組計画」や「取組状況」を入力する際は、本手引きの 9～23 ページに示した、特定プラスチック提供事業者が実施する取組を業種ごとにまとめた推奨例を参考にすることが可能です。

## 特定プラスチック使用製品提供事業者の取組事例集



## 目次

|              |    |
|--------------|----|
| 1. 小売業 ..... | 1  |
| 2. 飲食店 ..... | 8  |
| 3. 宿泊業 ..... | 12 |
| 4. 洗濯業 ..... | 16 |





## 1. 小売業

上記分類に該当する業種の例：

百貨店、総合スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンター、均一価格店、各種食料品小売業（食料品スーパーマーケット等）、野菜・果実小売業、食肉小売業（小分類に卵・鳥肉小売業を含む）、鮮魚小売業、酒小売業、菓子・パン小売業、その他の食料品小売業（牛乳小売業、飲料小売業、茶類小売業、料理品小売業、米穀類小売業、豆腐・かまぼこ等加工食品小売業、乾物小売業、他に分類されない飲食料品小売業）

各種商品小売業（無店舗のものを含む）の取組事例一覧

| 企業名                                       | 取組概要                                                                                                                                                                                                                                                                | 効果                                                                                                                                                                                          |
|-------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| イオン琉球株式会社                                 | 紙や木製といった環境配慮型素材への切り替え<br><a href="https://www.aeon-ryukyu.jp/cms/wp-content/uploads/2022/02/3c3cb99756ed809ec0154ff2f04a2987.pdf">https://www.aeon-ryukyu.jp/cms/wp-content/uploads/2022/02/3c3cb99756ed809ec0154ff2f04a2987.pdf</a>                                | イオングループ全体で年間約 150t のプラスチック削減<br><a href="https://www.aeon.info/wp-content/uploads/news/pdf/2022/02/20221R_2.pdf">https://www.aeon.info/wp-content/uploads/news/pdf/2022/02/20221R_2.pdf</a> |
| 株式会社ローソン沖縄                                | プラスチック製の穴あきスプーン・フォークの導入<br><a href="https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1447768_2504.html">https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1447768_2504.html</a>                                                                                              | 従来品に比べてプラスチック使用量を約 4～14%削減                                                                                                                                                                  |
| 株式会社セブン-イレブン・沖縄                           | 全国のセブン-イレブンに先駆けて、バイオプラスチック（植物由来の素材を 30%配合）で作られたスプーン・フォークを導入<br><a href="https://www.ryutsuu.biz/strategy/l110541.html">https://www.ryutsuu.biz/strategy/l110541.html</a>                                                                                            | 全国規模で石油由来のプラスチック 30%削減を目指している。<br><a href="https://www.7andi.com/company/news/release/21260.html">https://www.7andi.com/company/news/release/21260.html</a>                                 |
| 株式会社バン・パシフィック・インターナショナルホールディングス（ドン・キホーテ等） | プラスチック製の使い捨てカトラリーを廃止し、環境配慮素材（木製や紙製）に変更<br><a href="https://www.nikkei.com/article/DGXZRSP663964_R01C23A1000000/?msockid=123c47d55ac762c83b7f537c5b15637a">https://www.nikkei.com/article/DGXZRSP663964_R01C23A1000000/?msockid=123c47d55ac762c83b7f537c5b15637a</a> | グループ全体で年間約 35トン相当のプラスチック削減を見込む。                                                                                                                                                             |
| 生活協同組合コープおきなわ                             | ・プラスチック製フォークの提供廃止<br>・プラスチック製スプーンのサイズ変更                                                                                                                                                                                                                             | 年間約 3 キログラム相当のプラスチックを削減                                                                                                                                                                     |

|      |                       |
|------|-----------------------|
| 企業名  | イオン琉球株式会社             |
| 取組概要 | 紙や木製といった環境配慮型素材への切り替え |

#### 取組内容:

イオングループでは、CO<sub>2</sub>排出量ゼロの持続可能なプラスチック利用を目指す「イオン プラスチック利用方針」を掲げている。この方針のうち、「事業活動で使用する使い捨てプラスチック※1を2030年までに2018年比で半分に減らす」というグループ全体の目標達成に寄与すべく、イオン琉球株式会社では、2025年までに2018年比で35%減らす目標を掲げている。

2020 年からは、お客さまが惣菜や弁当などを購入される際にお渡しするカトラリーは、レジにてお申し出をいただいた方に必要な数量だけお渡しすることにより、使用量の削減を推進してきた。

上記の削減目標を達成するための取組をさらに推進するため、2022年4月1日より順次、「イオン」「イオンスタイル」「マックスバリュ」「ザ・ビッグ」「イオンドラッグ」全57店舗でお客さまにお渡しするカトラリーを、使い捨てプラスチック素材から紙や木製といった環境配慮型素材に切り替えた。

|       | ＜切り替え前＞<br>プラスチック製                                                                 | ＜切り替え後＞※2<br>木製・紙製                                                                  |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| カトラリー |  |  |

※1: 容器包装リサイクル法の対象となるプラスチック製容器包装のうち、使用後に不要となるものと、レジで無償配布するストローやカトラリー類などの使い捨ての資材。

※2: 各カトラリーの取り扱いは各店舗で異なる。

#### 効果:

イオンの主要なグループ店舗で上記取組を実施することにより、年間で約150tのプラスチックを削減する見込みである。

#### 参考:

ニュースリリース「店舗で配布するプラスチック製カトラリーを木製・紙製に変更」

(2022 年 2 月 17 日、イオン琉球株式会社)

<https://www.aeon-ryukyu.jp/cms/wp-content/uploads/2022/02/3c3cb99756ed809ec0154ff2f04a2987.pdf>

ニュースリリース「カトラリーを紙・木に切り替え、店頭回収ペットボトルがトップバリュ商品に！」

(2022 年 2 月 17 日、イオン琉球株式会社)

[https://www.aeon.info/wp-content/uploads/news/pdf/2022/02/220221R\\_2.pdf](https://www.aeon.info/wp-content/uploads/news/pdf/2022/02/220221R_2.pdf)

|      |                    |
|------|--------------------|
| 企業名  | 株式会社沖縄ファミリーマート     |
| 取組概要 | プラスチック製フォークの原則提供停止 |

#### 取組内容:

株式会社ファミリーマートでは、プラスチック使用量の削減を目的に、店頭でのプラスチック製フォークの提供を、2022年10月4日から、全国ファミリーマート約16,600店で、原則、取りやめている。  
フォークを希望するお客さまには、原則フォークの代わりに、竹箸を提供している。

なお、箸に不慣れな海外のお客さまや、フォークを必要とする小さなお子さま、障がいをお持ちでフォークをご希望されるお客さまなどについては、お客さまのご希望に応じて、フォークの提供を継続している。

スプーンについては、希望する方に、持ち手に穴を開けた軽量化スプーンの提供を継続している。



#### 効果:

竹箸などの代替品への移行や、お客さまのマイカトラリー利用促進が進めば、プラスチック使用量は年間で約 250トン削減される見込みである。

#### 参考:

ニュースリリース「プラスチックの削減効果は年間約 250 トン フォークから竹箸の提供に変更 2022 年 10 月 4 日から全国の店舗でスタート」

(2022 年 9 月 21 日、株式会社ファミリーマート)

[https://www.family.co.jp/company/news\\_releases/2022/20220921\\_01.html](https://www.family.co.jp/company/news_releases/2022/20220921_01.html)

|                                                                                                                                             |                                                                                    |                                                                                      |                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 企業名                                                                                                                                         | 株式会社ローソン沖縄                                                                         |                                                                                      |                                                       |
| 取組概要                                                                                                                                        | プラスチック製の穴あきスプーン・フォークの導入                                                            |                                                                                      |                                                       |
| 取組内容：                                                                                                                                       |                                                                                    |                                                                                      |                                                       |
| 株式会社ローソンは、プラスチック資源循環促進法の施行に合わせ、2022 年 4 月 1 日より順次、 <u>持ち手部分に穴を開け長さも短くしたプラスチック製スプーンとフォークを導入</u> するとともに、木製スプーン(※)の選択を店舗が自由にできるようにした。          |                                                                                    |                                                                                      |                                                       |
| このうち、穴開きスプーンとフォークは、2022 年 4 月 1 日より東京都内の直営店 3 店舗で開始し、株式会社ローソン沖縄でも提供している。                                                                    |                                                                                    |                                                                                      |                                                       |
| カトラリーの種類                                                                                                                                    | パターン 1                                                                             | パターン 2                                                                               |                                                       |
| スプーン                                                                                                                                        |   |    |                                                       |
| フォーク                                                                                                                                        |  |                                                                                      |                                                       |
|                                                                                                                                             | 「プラスチック製穴開きスプーン」<br>＋<br>「プラスチック製穴開きフォーク」                                          | 「木製スプーン」<br>＋<br>「プラスチック製穴開きフォーク」                                                    |                                                       |
| (※)「木製スプーン」導入店舗においても、「フォーク」に関しては、安全性の問題を考慮し、当面の間はプラスチック製フォークを提供する。                                                                          |                                                                                    |                                                                                      |                                                       |
| 効果：                                                                                                                                         |                                                                                    |                                                                                      |                                                       |
| 従来品に比べて、プラスチック使用量を約 4.0～14.0%削減                                                                                                             |                                                                                    |                                                                                      |                                                       |
| 新旧比較画像                                                                                                                                      | 新旧比較                                                                               | 新旧比較画像                                                                               | 新旧比較                                                  |
|                                                          | ・スプーン<br>＜全長＞<br>1.0cm 削減<br>＜プラスチック使用量＞<br>約 14.0%削減                              |  | ・フォーク<br>＜全長＞<br>1.0cm 削減<br>＜プラスチック使用量＞<br>約 10.0%削減 |
|                                                          | ・デザートスプーン<br>＜全長＞<br>変更なし<br>＜プラスチック使用量＞<br>約 4.0%削減                               |                                                                                      |                                                       |
| 参考：                                                                                                                                         |                                                                                    |                                                                                      |                                                       |
| ニュースリリース『「プラスチック製穴開きスプーン・フォーク」の採用とスプーンの「木製」との選択制を導入』(2022 年 2 月 7 日、株式会社ローソン)                                                               |                                                                                    |                                                                                      |                                                       |
| <a href="https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1447768_2504.html">https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1447768_2504.html</a> |                                                                                    |                                                                                      |                                                       |

|      |                                                              |
|------|--------------------------------------------------------------|
| 企業名  | 株式会社セブン-イレブン・沖縄                                              |
| 取組概要 | 全国のセブン-イレブンに先駆けて、バイオプラスチック(植物由来の素材を 30% 配合)で作られたスプーン・フォークを導入 |

#### 取組内容:

株式会社セブン-イレブン・沖縄は、2019 年 11 月 1 日から、全国のセブン-イレブンに先駆け、沖縄県内のセブン-イレブン 23 店(2019 年 10 月末当時)において、環境配慮型のプラスチックを使用した「スプーン」「フォーク」を、本格導入した。これらの「スプーン」「フォーク」は、植物由来(バイオマス)の素材が 30%配合されている。

その後、「プラスチック資源循環促進法」への対応として、株式会社セブン-イレブン・ジャパンは、2022 年 4 月 1 日より順次、先述の環境配慮型である「スプーン」「フォーク」を全国のセブン-イレブンに導入した。



#### 効果:

全国の店舗に拡大することで、石油由来のプラスチック 30%削減する見込みである。

#### 参考:

ニュースリリース「植物由来の素材を 30%配合したカトラリーを全国のセブン-イレブンに順次導入」  
(2022 年 2 月 21 日、株式会社セブン-イレブン・ジャパン)

<https://www.7andi.com/company/news/release/21260.html>

|      |                                                                                                                              |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 企業名  | 株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス                                                                                              |
| 取組概要 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチック製使い捨てスプーンおよびストローの無料配布を廃止</li> <li>・環境配慮素材(木製や紙製)に変更し、有料(3 円)での提供を開始</li> </ul> |

#### 取組内容:

株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス(ディスカウントストアのドン・キホーテ等。以下、PPIH と記載)は、2023 年 11 月 1 日より、国内店舗においてプラスチック製の使い捨てカトラリー(スプーン、フォーク、ストロー)を廃止し、それぞれ環境配慮素材(木製や紙製)に変更した。



環境配慮素材を使用したカトラリー

#### 効果:

本取り組みにより、年間約 35トン相当のプラスチック削減を見込んでいる。

#### 参考:

PPIH、ドン・キホーテやアピタ等の PPIH グループ国内店舗でプラ製スプーン等の配布を廃止 (2023 年 11 月 1 日、日本経済新聞)

[https://www.nikkei.com/article/DGXZRSP663964\\_R01C23A1000000/?msockid=123c47d55ac762c83b7f537c5b15637a](https://www.nikkei.com/article/DGXZRSP663964_R01C23A1000000/?msockid=123c47d55ac762c83b7f537c5b15637a)



|                                                                                                                                                                                                                                   |                  |                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-----------------------------------------|
| 企業名                                                                                                                                                                                                                               | 生活協同組合コープおきなわ    |                                         |
| 取組概要                                                                                                                                                                                                                              | プラスチック製フォークの提供廃止 |                                         |
| 取組内容：                                                                                                                                                                                                                             |                  |                                         |
| <p>生活協同組合コープおきなわは、特定プラスチック使用製品の素材や大きさの変更により、プラスチックの排出量を 20%削減（取組開始前年比）することを目指している。</p> <p>令和5(2023)年からは、プラスチック製フォークの提供を廃止した。令和 6(2024)年からは、スプーンの柄の長さを短くしている。</p> <p>また、カトラリーの使用について、顧客の意思を確認し、カトラリーを手渡しすることにより、使用量の削減を推進してきた。</p> |                  |                                         |
| 品目                                                                                                                                                                                                                                | ＜変更前＞            | ＜変更後＞                                   |
| フォーク                                                                                                                                                                                                                              |                  | 令和5(2023)年から、提供を廃止<br>（お客様の希望に応じて、箸を提供） |
| スプーン                                                                                                                                                                                                                              | 柄の長さ：16cm        | 柄の長さ：14cm                               |
| 効果：                                                                                                                                                                                                                               |                  |                                         |
| プラスチック製フォークの提供廃止や、年間約 3 キログラム相当のプラスチックを削減した。                                                                                                                                                                                      |                  |                                         |

## 2. 飲食店

上記分類に該当する業種の例：

食堂、レストラン（専門料理店を除く）、専門料理店（日本料理店、料亭、中華料理店、ラーメン店、焼肉店、その他）、そば・うどん店、すし店、酒場、ビヤホール、バー、キャバレー、ナイトクラブ、喫茶店、その他の飲食店（ハンバーガー店、お好み焼・焼きそば・たこ焼店、他に分類されない飲食店）

持ち帰り飲食サービス業、配達飲食サービス業、施設給食業

飲食店の取組事例一覧

| 企業名                             | 取組概要                                                                                                                                                         | 効果                                                             |
|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 有限会社ベントス<br>（タコライス Café きじむなあ等） | 紙ストローの導入<br><a href="https://www.benthos.co.jp/company/">https://www.benthos.co.jp/company/</a>                                                              | 紙ストローを導入することで、年間約 50 万本分の石油プラスチックを削減                           |
| ブルータートル                         | さとうきび繊維のストローを導入<br><a href="https://www.reproall.com/post/20220525">https://www.reproall.com/post/20220525</a>                                               | さとうきび繊維のストローを利用することで、月最大 6000 本分の石油プラスチックを削減                   |
| Sunny Coral                     | 継続的に注文のあるマリン事業者に繰り返し使える容器の持ち込みを依頼<br>とかしきinfo 事業者情報（渡嘉敷村観光協会 オフィシャルサイト）<br><a href="https://tokashiki.info/shop/01801">https://tokashiki.info/shop/01801</a> | 繰り返し使える容器の持ち込みの依頼や、紙製の弁当容器を利用することで、石油由来のプラスチック弁当容器の調達をゼロにしている。 |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 企業名                                                                                                                                                                                                                                                                               | <p>有限会社ベントス<br/>(タコライス Café きじむなあ等)</p> |
| 取組概要                                                                                                                                                                                                                                                                              | 紙ストローの導入                                |
| <p><b>取組内容：</b></p> <p>有限会社ベントスの運営する飲食店では、使い捨てプラスチック削減を進めている。特定プラスチック使用製品に関しては、紙ストローの導入を実施している。</p> <p>この他、テイクアウト容器を環境配慮型容器への変更、100%食物繊維を利用したエコバンブー容器の使用、植物など生物由来のバイオマスレジ袋や紙袋の使用などを行っている。</p>  |                                         |
| <p><b>効果：</b></p> <p>紙ストローを導入することで、年間約 50 万本分の石油プラスチックを削減している。</p>                                                                                                                                                                                                                |                                         |
| <p><b>参考：</b></p> <p>有限会社ベントスの SDGs への取り組み(有限会社ベントス ホームページ)</p> <p><a href="https://www.benthos.co.jp/company/">https://www.benthos.co.jp/company/</a></p>                                                                                                                        |                                         |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 企業名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ブルータートル          |
| 取組概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ・さとうきび繊維のストローの使用 |
| <p><b>取組内容：</b></p> <p>伊良部島にあるカフェ&amp;レストランのブルータートルでは、さとうきび繊維のストローを 2020 年 2 月頃から利用している。</p> <div data-bbox="590 456 1070 1176" data-label="Image"> </div> <p><b>効果：</b></p> <p>さとうきび繊維のストローを利用することで、月最大 6000 本分の石油プラスチックを削減している。</p> <p><b>参考：</b></p> <p>日々精進ブログ ― 5月25日(水) 実績紹介(株式会社リプロール ホームページ内ブログ)</p> <p><a href="https://www.reproall.com/post/20220525">https://www.reproall.com/post/20220525</a></p> |                  |

|      |                                   |
|------|-----------------------------------|
| 企業名  | Sunny Coral                       |
| 取組概要 | 継続的に注文のあるマリン事業者に繰り返し使える容器の持ち込みを依頼 |

#### 取組内容:

渡嘉敷島にあるテイクアウト&デリバリー専門店の Sunny Coral は、環境保全の第一歩を「まず、ローインパクトであること」と考え、特定プラスチック使用製品に関しては、継続的に注文のあるマリン事業者に繰り返し使える容器の持ち込みを依頼している。



この他、テイクアウトの場合、竹製スプーンやフォークを提供し、弁当容器や仕切りカップは紙製、サンドイッチにはパラフィン紙を使用、オードブルは陶器やステンレス皿で提供する取組を実施している。



#### 効果:

繰り返し使える容器の持ち込みの依頼や、紙製の弁当容器を利用することで、石油由来のプラスチック弁当容器の調達をゼロにしている。

#### 参考:

とかしき info 事業者情報(渡嘉敷村観光協会 オフィシャルサイト)  
<https://tokashiki.info/shop/01801>



### 3. 宿泊業

上記分類に該当する業種の例：

旅館、ホテル、簡易宿所、下宿業、そのほかの宿泊業（会社・団体の宿泊所、リゾートクラブ等）

宿泊業の取組事例一覧

| 企業名                                     | 取組概要                                                                                                                                                                                                                                 | 効果                                    |
|-----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| フサキビーチリゾート ホテル<br>& ヴィラズ<br>(アイランド株式会社) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・海水中でも生分解される 100%植物由来のヘアブラシや歯ブラシに変更</li> <li>・ムギの廃棄部分からなる再生可能な生物資源を含有したカミソリに変更</li> </ul> <a href="https://www.fusaki.com/blog/archives/14964">https://www.fusaki.com/blog/archives/14964</a> | —                                     |
| 沖縄ハーバービューホテル<br>(ザ・ホテルエ・グループ那覇株式会社)     | 食用外の古米や工業米、紙、コーンスターチなどの生物由来資源(バイオマス)を使ったヘアブラシ、かみそり、シャワーキャップ、歯ブラシの導入<br><a href="https://oka-hvh.com/sdgs/">https://oka-hvh.com/sdgs/</a>                                                                                             | 2024 年 12 月までに約 0.35 トンの石油由来プラスチックを削減 |
| ホテル日航アリビラ                               | ヘアブラシ、くし、かみそり、シャワーキャップ、歯ブラシの 5 品目を再生可能資源や再生プラスチックを使用した代替製品に切り替え<br><a href="https://www.alivila.co.jp/information/news/2394/">https://www.alivila.co.jp/information/news/2394/</a>                                                   | 一人当たりの消費量について、15%削減(2021 年比)を達成       |



|                                                                                                                                                                                                             |                                    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| 企業名                                                                                                                                                                                                         | フサキビーチリゾート ホテル&ヴィラズ<br>(アイランド株式会社) |
| 取組概要                                                                                                                                                                                                        | エコアメニティの導入                         |
| <p><b>取組内容:</b></p> <p>フサキビーチリゾートホテル&amp;ヴィラズでは、石垣島の豊かな自然を保全する取り組みを続けており、2022年6月13日から100%植物由来で海水中でも分解される素材を使用した歯ブラシやヘアブラシやムギの廃棄部分からなる再生可能な生物資源を含有したカミソリを提供している。また、包材を紙製へ変更しプラスチック廃棄量削減を目指している。</p>          |                                    |
|                                                                                                                          |                                    |
| <p><b>効果:</b></p> <p>(対象事業者に確認後、効果を記載予定)</p>                                                                                                                                                                |                                    |
| <p><b>参考:</b></p> <p>お知らせ 2022.06.13 豊かな自然を守る-エコアメニティ導入<br/>(フサキビーチリゾート ホテル&amp;ヴィラズ ホームページ)</p> <p><a href="https://www.fusaki.com/blog/archives/14964">https://www.fusaki.com/blog/archives/14964</a></p> |                                    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 企業名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 沖縄ハーバービューホテル<br>(ザ・ホテルエ・グループ那覇株式会社)                                                    |
| 取組概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・客室アメニティのバイオマス化</li> <li>・エコアクションの実現</li> </ul> |
| <p><b>取組内容：</b></p> <p>沖縄ハーバービューホテルでは客室アメニティ(歯ブラシ、ヘアブラシ、カミソリ、シャワーキャップ)を食用外の古米や工業米、紙、コーンスターチなどの生物由来資源(バイオマス)が使用された製品を提供している。</p>  <p>また、エコアクションの実現に向けて以下のことを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・客室設備の「シューシャインクロス(靴磨き)」を再生原料(回収ペットボトル)25%使用の製品に変更</li> <li>・客室設備の「サニタリーバッグ」、「ランドリーバッグ」をサトウキビ由来の「バイオマス成分を含んだ製品」に変更</li> <li>・テイクアウト商品でのエコバッグ持参の案内</li> </ul> <p><b>効果：</b></p> <p>人々の食料品供給に影響を及ぼさない安全で自然なバイオマス原料使用のアメニティに変更する取組によって、2024 年 12 月までに約 0.35トンの石油由来プラスチックを削減した。</p> <p><b>参考：</b></p> <p>Information お知らせ SDGs への取り組みについて<br/>(沖縄ハーバービューホテル ホームページ)</p> <p><a href="https://oka-hvh.com/sdgs/">https://oka-hvh.com/sdgs/</a></p> |                                                                                        |

|      |                                      |
|------|--------------------------------------|
| 企業名  | ホテル日航アリビラ                            |
| 取組概要 | 客室設置の5品目を再生可能資源や再生プラスチックを使用した代替製品を提供 |

#### 取組内容:

ホテル日航アリビラでは客室に設置している5品目(ヘアブラシ、カミソリ、歯ブラシ、クシ、シャワー、キャップ)について、再生可能資源や再生プラスチックを使用した代替製品に切り替えて提供する。

レストランで使用しているストロー、マドラーについてもバイオマスを含む製品への切り替えを進めている。また、設置されているアメニティスペースには世界認証であるFSC(森林管理協議会)の認証を受けた木製のスプーン、フォーク、ナイフが設置されている。



2022年度の特定プラスチック対象アメニティ製品5品目の一人当たりの消費量について、2021年比5%削減を目標としている。

#### 効果:

特定プラスチック対象アメニティを再生可能資源や再生プラスチックにする取組によって、2020年度にお客様一人当たりのプラスチック使用量を(2021年度比)15%削減することを達成した。

#### 参考:

お知らせ 2022.04.01 プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律について  
(ホテル日航アリビラ ホームページ)

<https://www.alivila.co.jp/information/news/2394/>

<https://www.alivila.co.jp/topics/1705/>

## 4. 洗濯業

上記分類に該当する業種の例：

普通洗濯業、洗濯物取次業、リネンサプライ業

### 洗濯業の取組事例

|                                                                                                                                                                                                                                  |                  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 企業名                                                                                                                                                                                                                              | 株式会社 丸三（丸三ランドリー） |
| 取組概要                                                                                                                                                                                                                             | プラスチックハンガーの再利用   |
| <p><b>取組内容：</b></p> <p>株式会社丸三は、ハンガーを洗浄し繰り返し利用する取り組みを令和 5 年(2023 年)度から開始した。株式会社丸三の「丸三ランドリー」では、これまで鉄を含むハンガーを使用していたが、錆びやすく変形することから再利用に適していなかった。</p> <p>そこで、全てのハンガーをプラスチックに変更し、洗浄して再利用可能にした。「丸三ランドリー」では、顧客にハンガーの返却を促し、再利用を進めている。</p> |                  |
| <div></div>                                                 |                  |
| <p><b>効果：</b></p> <p>プラスチック製ハンガーの再利用を進めることで、使い捨てプラスチック製ハンガーの使用量削減に寄与している。</p>                                                                                                                                                    |                  |
| <p><b>参考：</b></p> <p>丸三ランドリー ハンガー再使用の取り組み(OTV ホームページ「OKITIVE」)</p> <p><a href="https://www.otv.co.jp/okitiv/news/post/00008584/index.html">https://www.otv.co.jp/okitiv/news/post/00008584/index.html</a></p>                    |                  |



事業者向けの使い捨てプラスチック使用削減の手引き  
令和7年（2025年）3月策定

沖縄県 環境部 環境整備課  
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2  
TEL. 098-866-2231 FAX. 098-866-2235  
E-mail. aa035009@pref.okinawa.lg.jp